

--

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は、著作権の関係で、  
掲載できません。



三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は、著作権の関係で  
掲載できません。

受験番号

問1 文中の **A** に入る体の一部を表す言葉として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア くちびる
- イ ゆび
- ウ はな
- エ みみ

--

問2 ー線①「明日からおこづかいでバスに乗ることにした」とあるが、なぜですか。「くから」に続くように文中から十字でぬき出して書きなさい。


から。

問3 ー線②「泣き出しそうになってしまった」とあるが、実際に少年が泣き始めたことが分かる表現を、文中から一文でぬき出し、最初と最後の三字を書きなさい。


く


問4 ー線③「最後の回数券をわたしたくない」について、次の問いに答えなさい。

(1) この少年が、最後の回数券をわたしたくないのはなぜですか。解答らんにあてはまるように、文中からそれぞれ九字と十五字でぬき出して書きなさい。

最後の回数券をわたしたら、


ことになるので、

そのぶん、


と考えているから。

(2) 「わたしたくない」という思いがよくあらわれている少年のせりふを、文中から二十七字でぬき出し、最初と最後の三字を書きなさい。


く


問5 文中の **④** にあてはまる、河野さんの様子をあらわす表現を、文中から六字でぬき出して書きなさい。


問6 ー線⑤「心配はいらなかった」とあるが、なぜですか。文中の言葉を用いて、二十五字以内で書きなさい。


問7 ー線⑥「目は合わない。それがちよつと残念」とあるが、河野さんと目が合わないことが、なぜ、少年にとって残念だったのですか。その理由として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 少年は最後の回数券を使いたくなくてわがままを言ってしまったことを、河野さんに謝れなかったから。
- イ 少年は以前バスの中を立ち歩いたときのように声をかけられたかっただのに、河野さんに相手にされなかったから。
- ウ 少年がようやくバスに一人で乗ることができるようになったことを、河野さんに認めてもらえなかったから。
- エ 少年が最後の回数券を使わなくてよいようにお金を入れてくれた、河野さんへのお礼を伝えられなかったから。

--

問8 本文の内容として正しいものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 少年は、母が入院してからバスに乗って病院へ通っていたが、一人で帰るのがさびしくなったので、父に病院までむかえに来てほしいとたのむようになった。
- イ 少年は、一人で仕方がなく帰らなければならぬとき、新しい回数券を買うお金を持っていなかったため、どうしてよいかわからず泣いてしまった。
- ウ 少年は、最後の回数券を使って乗るバスは、どうしても河野さんが運転するバスにしたかったので、バス停で何度もバスをやり過ぎ、河野さんを確認して乗った。
- エ 少年は、河野さんが運転するバスに乗ったが、最後にもかかわらず、いつも通りのぶつきらぼうな対応だったので、河野さんのことをきらいになった。

--

